

「TKC中小企業経営支援フォーラム」に参加して

平成30年9月10日(月) 15:00~19:30 於:ホテルボストンプラザ草津

三須 宗次

9月10日の滋賀での開催に参加しました。基調講演の神戸大学教授の家森信善氏は滋賀県長浜の出身、地元彦根の滋賀大学卒ということを知り、身近に感じられ、また、わかりやすい講義で大変参考になりました。基調講演の後、書面添付研修・情報交換会があり、地元金融機関との交流会として有意義な時間でした。

基調講演の内容は、私たち税理士の社会的役割として、地域経済の活性化のため金融機関との連携強化の必要性が益々増している。そこで家森先生が興味を持たれたのが、「TKCモニタリング情報サービス」です。先生がTKCに問い合わせたところ、坂本TKC全国会会長が直々にわざわざ説明に来られたそうです。

本サービスは、財務データの授受が適時に行われるため、金融機関はより適切なタイミングで顧客の財務内容や経営状況を踏まえたソリューション提案が行えるようになる。担保や保証に依存しない、いわゆる事業性評価(企業の事業内容や成長可能性等を評価)による融資へとつながる。

埼玉りそな銀行では、このサービスの利用法人に経営者保証の免除適用を開始しました。これを全国の金融機関に広めたいものです。そのためには、もっと飛躍的に本サービスを拡大しないとけません。



私たちTKC会計人にも大きなメリットがあります。TKCモニタリング情報サービスにより、従来紙ベースでは金融機関に渡っていなかったかも知れない、書面添付・記帳適時性証明書・会計要領チェックリスト・経営計画などを自動的に提供できることとなります。TKC活動を金融機関により知ってもらえることとなります。

実践あってこそ真のTKC会計人です。あらゆるTKC活動を積極的に実践し、金融機関との連携を強化して、中小企業を支援し、地域社会に貢献していきましょう。



巴山 知樹 先生



家森 教授



三菱UFJ銀行 様